進学通信

ステップゼミナールだより

ホップ・ステップ

3 March

第185
2022年3月1日発行

新年度に向けて、一年間の計画と目標を立てる

コロナ禍の中いよいよ3月になり入試や卒業式など皆さんが次のステップに進む時期になりました。

進級を目の前にした今、この1年間、努力が実って成績が伸びて喜んでいる人もいれば、思うように勉強がはかどらずにあせっている人もいると思います。どのような生活を送ってきたとしても、必ず反省すべき点があるはずです。それを踏まえて、次の学年に向けて気持ちを新たに目標や計画をたてる事が大切です。

最初に基本となる生活習慣を考えましょう。

きちんとした生活習慣を身につけることは、中学生活の基本中の基本。ダラダラと夜更かしをして早起きできず、朝食もとらずに遅刻すれすれに登校するようでは、授業に集中できなくなります。

小学校の頃から繰り返し言われてきたかもしれませんが、「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣が身についているか、もう一度振り返ってみましょう。テレビやゲームも時間を浪費する原因となりますから、「1日○分まで」「夜○時からはやらない」とルールを決める事が必要です。

習慣を変えるのは簡単なことではありません。しかし、一度、身につけてしまえば、意識せずに実行できるようになりますから、大変なのは最初だけです。規則正しい生活習慣が身につけば、勉強や部活、人間関係など、あらゆることに対して前向きな気持ちになれます。

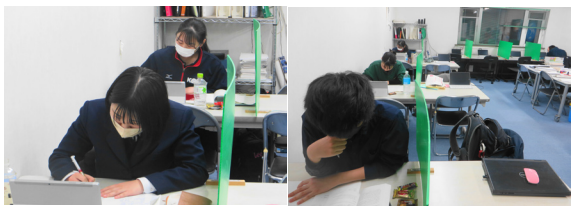
そのためにはまず基本となる学習計画を作成し、年間の目標を設定することです。その前にこの1年間を振り返り、典型的な1日の流れを書き出してみることです。そうすると、自分の行動が客観的に見えて、自然と問題点が浮かび上がってきます。

しかし、実際に新年度が始まったら、計画通りに進まないかもしれません。でも、そのときは、計画を考え直すことです。「どういう工夫をすれば、無理なく勉強を続けられるか」などと、自分の問題点について考え、実行し、計画を改善する。それを繰り返すことにより、大人になって仕事をするときにも非常に役立つ、「自ら計画を立て、実行する力」が徐々に育っていきます。

定期テストに向けて勉強する中学生

授業中の様子です。寝ている人もいますが！

差し入れありがとうございます。ペーパータオルにハンドソープも！



高校生も定期テストに向けて勉強中です。高校生になって勉強するんですよ。高校に入学してからの3年後のために！

漢検準2級に合格した遠矢中2年の水澤優花さん。中2での準2級合格はすごいことです。おめでとうございま～す。次は2級！

湖陵の福士君が私大の近畿大学と北里大学に合格しました。国公立は帯広畜産大学を受験します。努力は結果に結びつきますね。

八王子にある東京工科大学2年生の小澤君が2年ぶりに顔を見せました。2年生になって、やっと対面授業になったそうです。

6期生（40）の鈴木君が仕事の合い間に顔を出しました。塾が休憩場所になっているようです（笑）

『非認知能力』が将来を変える！

「認知能力が高い（成績が良い・IQが高い）」だけでは、将来的には成功するとは限らず、成功するには「非認知能力」が高い必要があります。が、だからと言って学力が要らないわけではありません。勉強をすることにより非認知能力も鍛えられるのです。

「勉強した内容」そのものが役立つ事はもちろんありますが、「勉強する行為」に「非認知能力」を鍛える方法が多分に含まれています。

「非認知能力」とは…。学力テストでは計れない「忍耐力」や「意欲」、「社会的適性」とか「自己認識」など…他にも色々あります。中でも「自制心」「やり抜く力」が今注目されています。勉強をする上で、「やりたい事を我慢して、目標に向かってコツコツ積み重ね達成させる」という場面は、受験勉強やテスト対策を行っている過程でたくさん出てきます。

勉強をする事により、「自分自身の気持ちを抑え（自制心）」「目標に向かって積み重ね達成（やり抜く力）」は本当によく鍛えられます。もちろん、課外活動、部活等でも認知能力は鍛えられます。実際、近年の実験で「認知能力が高い人（勉強の良く出来る人）でも、経済的・社会的にうまく行っていない人は多々いるが非認知能力が鍛えられている人は経済的にも社会的にも成功している人が多い」という結果がでているのです。

人生を成功に導く上で重要な非認知能力とは

◎自制心　意思が強く、精神力が強い　◎やりぬく力　非常に遠い先にあるゴールに向けて、興味を失わず、努力し続けることが出来る気質のことです。

ステップゼミナールでは、中学2・3年生の新学期は3月スタートです。それは入試が3月の初めなので中3生の1年が12ヶ月ないからです。

21年度に中学校の新指導要領がスタートし、いよいよ最初の入試が実施されます。裁量問題も無くなり、60点満点から100点満点に変更になり難化が予想されています。

表やグラフを読み取らなければならない問題は各教科に見受けられます。記述問題や完全解答、表現力が問われるなど難化しているのは間違いないでしょう。

どの教科も読解力が必要なっています。4月の進級に向けては、学力プラス非認知能力についても意識して取り組みましょう。今までのままでは新しい時代に通用しないことを意識して臨むことです！

■3月の予定■

1	火	高校卒業式
2	水	◆遠矢・景雲定期（～3）
3	木	★公立高校入試★◆青陵定期（～4）
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	高校スタートダッシュ開始
8	火	
9	水	
10	木	公立高校入試まであと2日
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	中学校卒業式
16	水	☆公立合格発表☆
17	木	
18	金	小学校卒業式
19	土	
20	日	休塾
21	月	春分の日　休塾
22	火	二次募集受付
23	水	二次募集受付
24	木	春期講座準備休み
25	金	◆春期講座開始◆（～4）
26	土	
27	日	休塾
28	月	二次募集合格発表
29	火	
30	水	
31	木	

マスク、手洗い、消毒を！

携帯・スマホ持ち込み禁止！

ストップ過保護・過干渉！

がんばれ受験生！

在籍する生徒の所属校
小学校　昭和・愛国・遠矢
中学校　青陵・美原・景雲・鳥取・鳥取西・附属・富原・遠矢
高校　湖陵・江南・北陽・東・高専

発行：ステップゼミナール　088-0617　釧路町北都２－２－１　（TEL）0154-36-4170　HP https://stepsemi.com/　Mail：stepsemi@gmail.com

地域で暮らし続ける～日本とデンマークの現場から

「横並び社会」が生む受験競争

早生まれの子たちが負うハンディキャップ

大学入学共通テストの試験会場だった東京大近くの路上で、高校２年の少年に受験生の高校生ら３人が刺された事件。少年は逮捕後の調べに、「医者になるため東大を目指して勉強していたが、成績が上がらず自信をなくした」などと供述したそうです。デンマークで子育てした経験をもつ銭本隆行さんは「子どもたちを受験に駆り立てる日本社会のひずみが生んだ事件」と指摘します。デンマークは義務教育の仕組みも日本と異なり、子どもたちは自分の成長に合わせた教育を受けることができるといいます。日本とデンマークの教育の違いはどこにあるのでしょうか。銭本さんが「横並び社会」ともいえる日本の現状に警鐘を鳴らします。

同じクラスに５～７歳の子どもが在籍するデンマーク

大学入学共通テストの初日、東大前で高校２年の少年が３人を刺傷する事件が起きました。子どもたちを受験に駆り立てる日本社会のひずみが生んだ、痛ましい事件といえるのではないでしょうか。「大学卒業」という資格だけを取りに行く日本の学歴社会には大きな問題があるといえます。

大学入学共通テストの受験生らが切りつけられた東京大前の現場周辺を調べる警視庁の捜査員ら＝東京都文京区で 2022 年１月 15 日、手塚耕一郎撮影

筆者が暮らしたデンマークは、学歴社会ではまったくありません。デンマークは原則として小中一貫で、小中学校に相当する学校は「国民学校」と呼ばれます。学年は０～10 年生までありますが、10 年生は任意のため、０～９年生までの 10 年間が義務教育期間となっています。

日本では、小学校に上がる年齢は、４月２日以降に７歳になる者、と明確に決められています。一方、デンマークでは、国民学校の入学年齢は８月１日以降に７歳になる児童が「目安」とされています。デンマークは秋から新学期が始まり、現実の年齢基準はかなりゆるやかなものです。

筆者の長男がデンマークで国民学校に入学した際、田舎の学校だったこともあり、長男のクラスの児童数は 16 人でした。長男は４月に６歳になっていましたが、クラスの中で６歳だったのは 11 人、５歳が３人、７歳が２人いました。

「年齢がバラバラだな」と思って、長男の担任のキヤステン先生に聞いてみると、「5 歳の子どもはもう１～２カ月したら６歳になるんです。成長の様子から他の子と一緒に学習できるとみなされたんですよ」とのことでした。

７歳の児童がいる理由については、「前の年に０年生をやったけれど、言葉や社会性がまだ十分ではなかったので、もう１年間、0 年生をやることになりました」との答えでした。

この年の 10 月、クラス名簿を見ると、児童が１人増えていました。長男に聞いてみると、「1 年生に上がったけど、付いていけないから０年生に戻って、もう１年やることになったんだって」とのことでした。

他の子より１年遅れても気にしない

日本では、同じ年度に生まれた者は横一線の競争の中で、“永遠のライバル”となります。もしその線から外れれば、落ちこぼれのレッテルを貼られがちです。受験競争や学歴社会もその延長にあるといえます。そして、その競争では、1、2、3 月の早生まれの子どもは、最初からかなりのハンディキャップを負っています。早生まれの子どもが４月生まれの子どもに成長面で追いつくのは、一般的に小学校の中学年ぐらいと言われています。

ところが、デンマークでは、他の子より１年遅れようが、まったく気にしません。子どもがコンプレックスを持たないかと親が心配したり、子ども自身もそれを思い悩んだりするようなことはありません。学校生活でも、その後の社会に出たときでも、１～２年の違いがハンディキャップになることはあり得ません。キヤステン先生は「その子の成長の度合いに応じたサポートが受けられることが一番大切」と話していました。

筆者の日本人の知人には、早生まれのため、小学校では何をやっても他の子と同じようにできず、つらい経験をしたという人が何人もいます。早生まれかどうかに限らず、このくらいの年齢の子どもは、成長面で１～２年の個人差があって当然なのだと思います。デンマークの子どもたちは、横並び社会とは無縁に、自分の成長に合わせた教育を受けながら、のびのびと育つことができています。

不登校になる子どもはまずいない

さらに、デンマークの親たちは、子どもにゆっくり教育を受けてもらいたいと思っているようです。０年生は正式には「幼稚園学年」と呼ばれる学校生活の「準備期間」で、１年生から本格的な勉強が始まります。かつては０年生は任意でしたが、ほぼ全員が行くようになり、今では義務教育の中に含まれました。「なるべく早く社会へ」という日本とはまさに逆であるといえます。

ある国民学校の校長は「子どもは今そこに、そのままの状態でいていい」と強調しました。子どもの存在自体が認められている学校であればこそ、学校は楽しくなるものです。以前、同校で学校生活についてアンケートを取ったところ、95％の子どもが「学校は楽しい」と答えたといいます。

「学校は楽しいもの」というのが、デンマークでは当たり前のことです。その結果なのか、デンマークでは不登校になる子どもはまずいません。日本のように、勉強を無理強いされ、他者と比較され、過大なストレスを受けた結果、不登校になるという負のスパイラルは、デンマークでは起こり得ないのです。

教育は知識だけに偏らない

そもそも国民学校での教育自体が、知識だけに偏っていません。

「教育の目標は二つあります。これらは二本足のようなものです。一本はもちろん子どもが知識を得ること。もう一本は、コミュニケーション能力など社会的に生きていけるスキルを身につけること。これら二本の足が同時に動かなければ人間は前に進めないのです」

オーデンセ市のリーシンゲ国民学校のジョニー・ラスムセン校長はこう話しました。学校は知識を教える場所であり、同時に社会性も身につけさせる場所だというわけです。

「両方のバランスをどのように育ててあげるか。これこそが教師の仕事です」

日本の学校も似たような目標を持っているとは思いますが、現実面でどれだけ実践されているのでしょうか。知識を過剰に求める受験社会が、学校のあり方を狂わせてしまっているようにも感じられます。

いじめが起きたら他の教員や市の職員とも連携して対応

デンマークにも「いじめ」はあります。ただし、いじめの質が日本とは少々異なり、集団で一人をいじめることや陰湿ないじめはあまりなく、１対１で起きるケースが多いそうです。いじめで不登校になるという事例も、ほとんどないと聞いています。

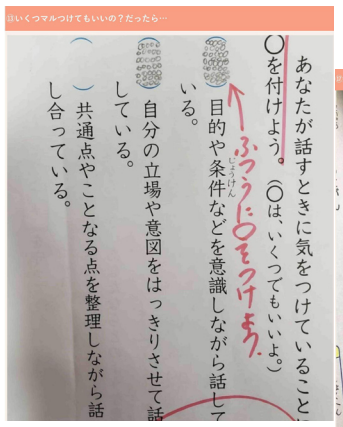
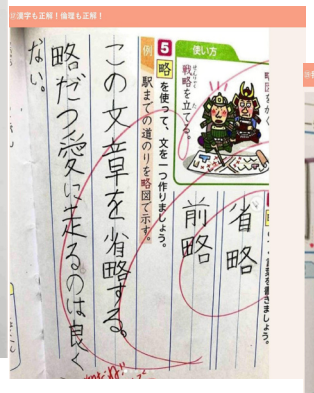
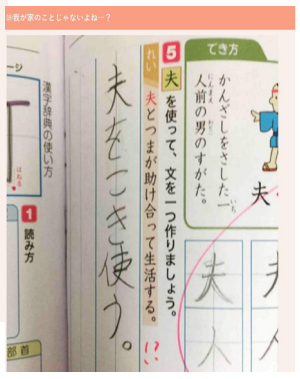
内容や多寡がどうであれ、人の尊厳を損ねかねないいじめは、デンマークの学校でも問題ととらえられています。いじめが発見されれば、まずは担任が対応します。各学校には必ずいじめ対策の専門講習を受けた教員がいて、担任が解決できない場合、一緒に問題解決に乗り出します。

さらに、市にはいじめ対策の支援職員がいて、この職員が一緒になって対策に取り組むこともあります。デンマークは社会自体がオープンであり、学校が風評を気にして校外から支援を仰ぐことをためらうということはないといいます。問題解決に徹底して取り組む姿勢がデンマークにはあるのです。

そのほか、発達障害などから対人関係が難しいなどの理由で、学校という集団の場になじめない子どもが不登校になってしまうケースがあるそうです。その場合も含めて、子どもは、学校が合わなければ、別の学校や家庭での学習など別の教育方法を探すことが公的に認められています。何重にも社会のセーフティーネットが張られているのは、子どもの場合でも同じなのです。

日本においても、横並びではなく、“枠”や“列”からはみ出しても柔軟に支えていくシステムの構築が、子どものみならず、次代を担う人たちをしっかりと育てることにつながり、社会のためにもなるのではないでしょうか。

銭本隆行・日本医療大学認知症研究所研究員

毎日新聞　医療プレミア 2022 年２月 23 日

小学生の面白い答え